

# 神山神社だより

平成24年8月  
8号

## ■ 人生儀礼と祭り

残暑厳しきこの頃いかがお過ごしのことでしょうか。日頃は神社の護持運営にご理解と御協力賜りまして誠にありがとうございます。今年も例年以上に盛大に夏祭りが出来ました。祭り元の長根地区、余興元の元中組地区、富籤の川西地区の皆様、大変ご苦勞様でした。また、小さなお子さん達の手踊り、参拝の多くの方々により大変賑わしく出来たことに感謝いたします。

さて、私達、日本人には物事の節目ごとに神社で又はわが家に神様をお迎えして祀る習慣があります。これは、見えないものの存在である神様により私達が生かされている、常に見守ってくださるという考えに基づくものです。例えば、子供が生まれて百日経つと初宮詣でを神社で行ないます。子供の健やかな成長を願うと同時に親の子に対する養育の誓いを立てる場でもあります。次に七五三詣があります。子供が無事成長したことの報告と感謝を申し上げる場です。また子供は神社という特別な場所に神様が居て

常に自分たちを見ているんだという思い

が生まれます。常に見守ってくれているから悪いことをしてはいけない、悪いことしたら罰が当たる、必要なことではないでしょうか。大人になれば成人式、結婚式、厄除とあります。最近では成人式、結婚式など神前でやるのがなくなり、厳粛な気持ちで大人の仲間入り、誓いを立てるとがなくなつたように思います。それゆえ、気持ちの軽くなる人生を送っている方も多くみられます。神様という見えない存在を祀り、手を合わせ、願いと誓い、そして感謝申し上げる、そんな人生がすばらしいと考えます。

## ■ 式年遷宮

神社にはそれぞれ格式があり神山神社はこの福岡の郷社(総社)です。日本の総社は伊勢の神宮です。その神宮では二十一年に一度、神様の住まいや、神様の調度品を造り替えるお祭りが行われます。これは西暦六九〇年に始まり、一三〇〇年以上にわたり継承されてきた盛大なお祭りです。平成一七年に加子母の神宮御用林を伐採する御杣始祭(みそまはじめさい)

から始まり多くの神事を経て来年の平成二十五年に神様に御遷り頂くまでを式年遷宮と言います。なぜ二十年ごとに執り行われるのかと申しますと、生きる知恵、技術を親から子に師から弟子に伝承する年月、また、神社というところが清い場所、その荘厳さを保つ年月といわれます。昔の技術より今の技術の方が素晴らしいと思われるかもしれませんが、今の技術は昔の技術により裏打ちされたものであり日本人の器用さの原点であると思います。それゆえに、その精神、技術を確実に伝承し続け永遠に若々しく生き続ける思想がうかがい知れます。

伊勢の外宮に新しく博物館「遷宮館」が出来上がりました。式年遷宮に関する社殿の造営技術、神様の調度品、神宝、伝統文化を紹介している建物です。古来の技術、精神文化がわかるかと思えます。ぜひ一度、訪れて観て下さい。

## ■ リニア鉄道、中津川駅



中津川市にリニアの中津川駅が出来ること決まって一年となりますが神社界

に於いても他人事で済まされなくなってきました。

一つ目は、将来、この地方の土地価格が高騰すれば売買の対象になるでしょう。個人の土地に神社がある、無登録神社で在る場合、神社として成り立たなくなる恐れがあります。リニア駅ができる坂本地区に於いては特に顕著となるでしょう。法人登録されている神社であれば、補償対象となり、代替地がもらえ社殿も新しくすることが出来ますが、そうでない場合は、補償対象とならない場合が、ほとんどです。福岡の地に於いても例外ではないと思います。例えば、その土地が山林扱いであっても所有者が替わると登記しなおりますが建物があるという理由で山林扱いから宅地扱いに変わり、税金が増える可能性があります。各地区にある神社を今後、お護りしていくことが難しい時代となつてまいりますので、ご相談ください。

二つ目は、福岡の地が中津川市に於いてどのような位置づけにあるのか明確になつていのでしょうか。特にリニア駅ができることにより明確に位置づける必要があると思います。福岡の地が観光の街、工場の街、農業の街、住宅の街、とさまざまな街の在り様が考えられませんが、神社を護持運営していく上で神社の方向性も考えてかなければなりません。

ん。よく地方には伝統と文化の町という  
言い方がありますが具体性にかけます。  
明確なビジョンを示していただきたい  
ものです。神社は神社、街は街というよ  
うに分けて物事は考えられなくなつて  
来ているように思えてなりません。

### ■ これからの神社の取り組み

境内地が殺伐として来ております。境内  
地内に看板を立て訪れる人に社(やしる)  
の名前や祀られている神様がわかるよう  
にしていけます。神社の案内板を国道筋  
から誘導できるよう案内板を作り設置し  
ます。

### ■ 神宮大麻(じんぐうたいま)

伊勢の神宮のお神札(天照大御神)を神  
宮大麻と呼びます。毎年、年の暮れにな  
ると各地区の氏子総代さんを通じて各家  
庭に頒布させていただいています。また  
正月三が日、神社の社務所でも頒布して  
おります。なぜ、榊山神社のお神札と神  
宮大麻を頒布しているかと申しますと、  
榊山神社はこの福岡の氏神であり産土神  
であるためその御神徳を受けていただい  
ています。神宮大麻はこの国が世界の平  
和と安寧を常に願う皇室を象徴として頂  
いている国で、その皇室の御祖神である  
天照大御神のみしるしとして受けていた  
だいています。毎年受けていただいでい

る理由は、新たな一年が始まると同様、  
新しい力を授かると考えることで更なる  
御神徳が得られます。

神宮大麻、神社のお神札は先ず製造する  
前に工場でお祓いを受けます。お神札が  
出来ますと神宮に納められ神様を分霊し  
て神事を執り行います。それから、岐阜  
県の神社庁で頒布の神事をします。さら  
に中津川市支部にて頒布の神事を行い。  
そして、榊山神社で頒布式を行ない、各  
家庭へと頒布します。このように多くの  
お祭りを経て各家庭へと行き渡るお神札  
ですからたいへんありがたいものです。

### ■ これからのお祭り

十一月十一日(日)七五三祭り

申し込み連絡先 宮司(深谷耕平)

電話番号 0573-72-2892

十月下旬に新聞折込でお知らせ

十一月二十三日(水) 14:00 秋祭り

甘酒を振舞います。餅投げをします。

お立ち寄りください。

十二月三十日(日)大祓い式

人形による、一年間に受けた穢れの

お払いをおこないます。

一月一日(火)元旦祭

新春初詣

一月一日から三日 厄除け祈願・還暦奉告

申し込み連絡先 宮司(深谷耕平)

電話番号 0573-72-2892

### ■ 平成二十五年新春神宮参拝旅行

旅行日 一月十八日・十九日(二泊二日)

宿泊先 伊勢志摩ロイヤルホテル

お申し込みは各地区氏子総代 又は  
宮司(深谷耕平)まで 詳細について  
は十二月ごろお知らせします。

### ■ 巫女アルバイト募集

対象者 高校生以上の未婚の女性二名

期間 一月一日～一月三日

時間 AM9:00～PM16:00

アルバイト料 六千円/日当

連絡先 宮司(深谷耕平)

電話番号 0573-72-2892



### ■ 神社傷害保険加入の報告

榊山神社に参拝される方、並びに境内  
で作業活動、遊行の際、怪我をされた方  
を対象に傷害の程度により傷害保証金  
が下ります。怪我の無いことが一番です  
が何か在ったら神社の責任、氏子区域の  
責任となりますので、大きな補償とはい  
えませんが加入いたしました。



### ▼ お知らせ

岐阜県には3200社の法人登録をし  
ている神社があります。中津川市は94  
社でその内、福岡(高山、下野、田瀬、  
福岡)には6社あります。地元に住ん  
でいてもどのような神社なのか知らない方  
が多いと思います。岐阜県神社庁では岐  
阜県下にある3200社の神社の照会を  
インターネットホームページ上で照会し  
ていますので、ぜひご覧ください。

URL: <http://www.gifu-jinjacho.jp/>

### ▼ 榊山神社意見メール

皆様方からの神社に対する意見、質問、  
をメールにて受け付けております。今後  
の神社活動に役立てたいと思っております  
ので、ご利用いただきたいと思います。

Email: [mdinfo@mdworks.jp](mailto:mdinfo@mdworks.jp)